

課題	● 複数の乗り物があり移動が複雑な中で公共交通利用促進を全体として求められている。 ● インバウンド観光回復の本格化が見込まれるなか、公共交通機関も含めて特定時間帯や特定エリアへの需要集中を分散させる必要がある ● MaaSサービスのスマートフォン不保持利用者(近隣地域観光需要を含む)へのDX対応		
プロジェクト概要	[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)] ● 複雑なマルチモーダルをデジタルチケット化により公共交通へのシフトを促進し、観光アクティビティ等のフリーパス型観光MaaSの拡充を行うことで周遊・滞在・消費等の促進、満足度向上等を図る。 ● 乗降時等の認証における対応機材のバリエーションを増やし、活用推進と業務改善。 ● 上記課題を踏まえてのMaaSサービス多言語対応および、2次交通の事前予約の周知・サービス提供、予約データの事業者横断共有により需要予測と利活用。 ● スマートフォン不保持の利用者(インバウンドを含む家族旅行の未成年者や高齢者等)に対して、事前の利用者確認を前提としたQRコードを用いた乗降認証を実装。 ● ふるさと納税の返礼品としてMaaSチケットを提供することにより、訪日外国人の公共交通機関の利用と共に観光訪問先へのロイヤリティの醸成(寄付)を促進する		事業エリア/交通事業 事業エリア:石垣市及び竹富町 バス事業者:東運輸、カリー観光、西表島交通、竹富島交通 船舶定期航路事業者:八重山観光フェリー、安栄観光、舟浮海運 観光事業者:仲間側クルーズ事業者、由布島
	[モビリティ・データの取得と活用] ● 利用者の属性情報毎に、実際のODデータの詳細分析による中長期の運行計画の立案、MaaSサービスの設計、観光施策立案へ活用する		MaaSアプリ等 ● MaaSプラットフォーム:ジョルダンモバイルチケットサービス ● インバウンド対応に伴う利用者予約情報共有システム:フルスクラッチ開発
	[エンドコンテンツとの連携] ● 公共交通に加え、レンタサイクル等の追加、また離島(竹富島、西表島、小浜島等)側の観光アクティビティの拡充による周遊・滞在・消費等の促進および、オーバーツーリズムの解消 ● 石垣市、竹富町におけるスマートフォン不保持者の「おでかけ観光」利用等へのDX対応		データの活用等 ■ データの取得方法:2次元バーコードでの利用データについて、MaaSアプリから利用者情報、ODデータを認証機から取得 ■ データの活用方法:観光客利用データは、フリーパス型チケットの利用料金の公正な料金分配に活用、観光施策立案。地域住民利用データは、不正利用監視およびバス路線再編の検討に活用
		座組	スケジュール
効果	● 離島への送客推進により、八重山圏域全体への周遊・滞在・消費等の促進を実現 ● 訪日外国人のスムーズな受け入れ体制の構築により、オーバーツーリズムによる公共交通網への混乱抑制 ● スマートフォン不保持の利用者もMaaSサービスの利用が可能となる		
事業の新規性	■ 令和6年度に実施したMPM方式での公共交通利用の網羅性を高めるため、認証機材のバリエーション追加を行う ■ 観光移動需要状況把握から、事業者の運行計画への反映、地域住民への情報サービス提供を実施することで、オーバーツーリズム対策を実施 ■ フリーパス型観光MaaSで整備したQR認証方式を、スマートフォン不保持者でも利用可能な方式を導入することで、より広い利用者層へのソリューションを確立させる		実施団体 全体統括 八重山観光交通コンソーシアム システム改修 ジョルダン データ連携システム提供 XXXベンダー 自治体:石垣市・竹富町 運行委託 XXX交通事業者 実証運行 4～6月 要件定義 7～10月 システム開発 11月～1月 実証運行 2月～3月 効果測定